

電子複写不可

2280

大東亞戦争 戦闘詳報

軍艦大和

自昭和二十一年四月  
至昭和二十年四月

防衛研究所戦史室



(大和) (大和) (大和)

軍艦大和

昭和二十年四月十日

五月九日提出

軍艦大和戰鬥詳報

自昭和二十年四月六日  
至四月七日

軍艦大和

2282

同覽

禁煙印

目次

- 一 形勢 (略)
- 二 計画 (略)
- 三 經過 (略)
- 四 令達報告 (略)
- 五 戰果被害
- 六 我兵力現狀 (略)
- 七 參考事項

一 形勢 二 計画 (略)

三 戰時

經過 概

記事

五日 一五〇

昨電令作第六、七號受領  
118天和矢矧船(冬月涼月)初(磯風浪  
風雪風)初(朝霜初霜霞)

一七一

德山沖出擊  
細島、二五度一。深於佐伯空水偵敵者

一〇〇

豊後水道通過 深島南端、一四。度二五

深於二四。度一。來針第一警戒航行序  
列一占位又速力二二節一香回頭之字運

七日 三〇

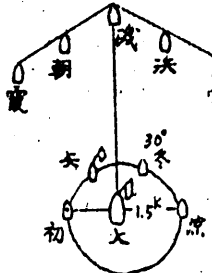
大隅海峡通過 第一警戒航行序列占位又  
針路二二。度速力二二節一香回頭之字運

動一法別法時刻法  
佐多岬、一九三度八。深於二八。度一。來針

三四五  
六〇

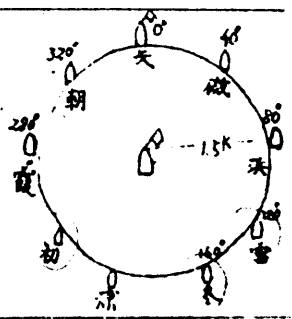
第三警戒航行序列一占位又

法時刻法時隔之全  
部五分七秒ナリ



第三警戒航行序列

- 一〇四〇 一五。度方向四。料二敵艦上機七機ヲ認ム
- 一〇四一 二。度四五料二敵飛行艇二機IBニ觸接セルヲ認ム
- 一〇四二 一八。度ニ右一斉回頭
- 一〇四三 先觸接機ニ對シ去副砲射撃開始
- 一〇四四 射撃ヲ止ム觸接機ヲ雲中ニ見失フ
- 一〇四五 三。度ニ右一斉回頭
- 一〇四六 一六。度ニ左一斉回頭 速力ニ。節
- 一〇四七 二一。度ニ右一斉回頭
- 一〇四八 一八。度方向五料二先觸接機ヲ發見ニ四。度
- 一〇四九 二右一斉回頭 速力ニ四節
- 一〇五〇 二七。度ニ右一斉回頭
- 一〇五一 二四。度ニ左一斉回頭
- 一〇五二 二五。度ニ左一斉回頭 豫定航路ニ向フ
- 一〇五三 速力ニ二節
- 一〇五四 二七。度方向四。料二敵艦上機七機發見
- 一〇五五 一八。度ニ左一斉回頭



- 一一四五 之字運動再興
- 一一五二 二五。度四五料二大島輸送隊ヲ認ム
- 一一五三 二三。度方向五。料二敵艦上機一五。機ヲ認ム
- 一一五四 速力ニ四節 之字運動ヲ止ム
- 一一五五 先飛行機ニ對シ射撃開始
- 一一五六 單獨左ニ回頭ス針路一。度
- 一一五七 九。度ニ左一斉回頭
- 一一五八 九。度方向ヨリSBC救機急降下ニ令一機墜
- 一一五九 單獨面舵ニ面避 最大戰速
- 一一六〇 後部附近ニ中型爆彈ニ令中
- 一一六一 後部射撃指揮所ニ番副砲十三號電探
- 一一六二 破壊
- 一一六三 左七。度ニ。米ニ雷撃機五機向首ス
- 一一六四 單獨右ニ面避ス
- 一一六五 左九。度ニ。米ニ雷跡三ヲ認ム
- 一一六六 左艦前部ニ魚雷一命中
- 一一六七 右艦尾ヨリSBC救機急降下ニ令

面航ニ回避ス一機撃墜

一三〇。度ニ定針

一三〇。度方向ニ。料ニ敵新目標五。機ヲ認ム

一三二。度ニ右一斉回頭

一三二。度速力ニ二節

一三三。度左六。度四。度。米ニ雷撃機二。機向首ス

一三三。度左ニ回避

一三五。度ニ。米ニ雷跡六ヲ認ム

一三三。度左航中部ニ魚雷三命中

一三四。度副航取航ヲトリテマ故障

一三四。度ニ右一斉回頭

一三四。度左六。度七。度。米ニ雷跡四ヲ認ム

一三四。度左航中部ニ魚雷二命中

一三四。度副航中央ニ固定ニ。五度ニ変針

一三四。度右艦首ヨリBB敵機急降下スル

單獨左ニ回避

一四〇。度左航ニBB二機撃墜

一四〇。度右艦首ヨリBB敵機急降下スル

一四〇。度單獨右ニ回避

一四〇。度左航中部ニ中型爆彈三命中

一四〇。度右六。度八。度。米ニ雷跡一ヲ認ム

一四〇。度單獨面航ニ回避

一四〇。度右航中部ニ魚雷一命中

一四〇。度左六。度一。度。米ニ雷跡四ヲ認ム

一四〇。度單獨取航ニ回避

一四〇。度左航中部及後部ニ魚雷二命中

一四〇。度ニ定針實速十二節

一四一。度傾斜左八六度

一四一。度左九。度一。度。米ニ雷跡一ヲ認ム

一四一。度取航ニ回避

一四一。度左航中部ニ魚雷一命中

一四一。度傾斜急激ニ増加ス

一四二〇 傾斜左二〇度  
一四二三 前後部砲塔新機沈没

四 令達報告 (略)

五 戰果被害

(1) 戰果

擊墜 三機

擊破 二十機

(2) 被害

沈没 (戰死艦長以下二〇名)

六 參考事項 (戰訓)

〔作戰用兵之部〕

一 水上部隊ヲ特攻隊トシテ突入セシム場合ハ其地航空部隊ト緊密ナル連繫ヲ絕對要件トシ極力制空權ヲ確保スルヲ共ニ天象地象ヲ利用スル等突入前徒ニ敵機ヲ好餌トシテ誘引スル如ク萬全ノ策ヲ講ズルヲ要ス

(1) 今次水特攻隊 突入作戰 我航空部隊總攻撃ニ策應シテ實施セラレシモ敵有力ヲ機動部隊内殘存シ且天候ハ我制空隊哨戒並ニ對空砲戰實施上不如意ナル等敵死シ不利ニ狀況ニ在リ甚大ナル犧牲ヲ拂ヒテ徒勞非島沖海戰 戰訓ヲ再認識セシ感アルハ遺憾トス

突入時機 關シテハ計畫ニ捉ハルコトヲ友軍機戰果並ニ敵情及天象等ヲ考慮シテ之ガ選定ヲ適切ナラシムルヲ肝要ナリ

(2) 戰況逼迫セル場合ニハ兎角焦慮感ニカレテ計畫準備ニ餘裕ナキヲ常トスルモ特攻兵器ハ別トシテ入後殘存驅逐艦等ヲ以テ此種特攻作戰成功ヲ期セシガ爲ニ慎重ニ計畫ヲ進メ事前進準備可及的綿密ニ行フヲ要アリ  
思ヒ付キ作戰精銳部隊(艦船)ヲモテ一徒死セシムルニ過キス、

〔砲戰之部〕

二 機銃角度式照準器、極々有効ナルモト認ム  
 今次戰鬥ニ於テハ視界ノ狭小ヲ補正シ傾斜等ニ因リ確認セザル撃墜機銃多クモ  
 リモ從來、照準器ハ其ノ射撃精度良好ニシテヨク集中セリ  
 (註)本艦、本照準器ヲ換裝シ約三個月、訓練ヲ實施セリ  
 三 從動照準裝置附設機銃、照準裝置機銃ト距離大ナル時、集中角修正裝置  
 ヲ是非トモ必要トス

機銃射撃精度良好ナリシモ抱ラス撃墜機銃少キ一ツ理由ハ敵機ニ對シ照  
 準裝置機銃ト集射角修正裝置ニ因リモト認ム多數機同時來襲時  
 機械的自動調整裝置ヲシテ之ヲ其ノ都度指揮官自測ニテ直頭調整輪ヲ  
 修正スルト、實施不可能ナリ集束彈ノ中心ヲ目標直得サレ多數 命中彈  
 ヲ得サルコトハ白明ノ理ナリ

四 聯裝機銃ハ艦轉舵彼等ヲ依リ。度分至ニ。度傾斜スルモ旋回圓滑ナラ  
 シル如ク機構改善ノ要切ナルアリ  
 艦船ノ爆撃回轉ニ對シテ、考慮スルニテ、高速ニ依リテ可トス。從來、戰  
 訓モ明カナリ。但轉舵中砲力發揮ニ關シテ最善ノ努力ヲ拂フベク之ガ  
 根本問題ハ傾斜中ニ於テモ照準容易ナラシムルアリ。之ガ為、從動部ニ機  
 軸輪ト共ニ縱觀輪ヲ七挿入スル要アリト認ム

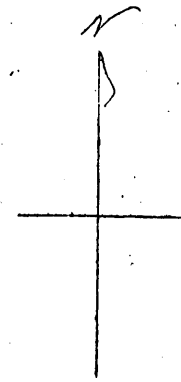
〔其他〕

一 敵機水上艦船ニ對シテ戰法特ニ新新ナルモノヲ認メタルモ菲島沖海戰比シ  
 戰術雷協同攻撃法ハ層巧妙トシテ感アリ

當日雲高低々視角不良ナルモ抱ニス。八編隊ガ克ク連繫ヲ保持シ流死ス  
 ルコトナク同時異方向ヨリ殺到シ被害スルヤ直ニ此ノ弱點ニ際テ反復攻撃  
 ヲ敢行セリ

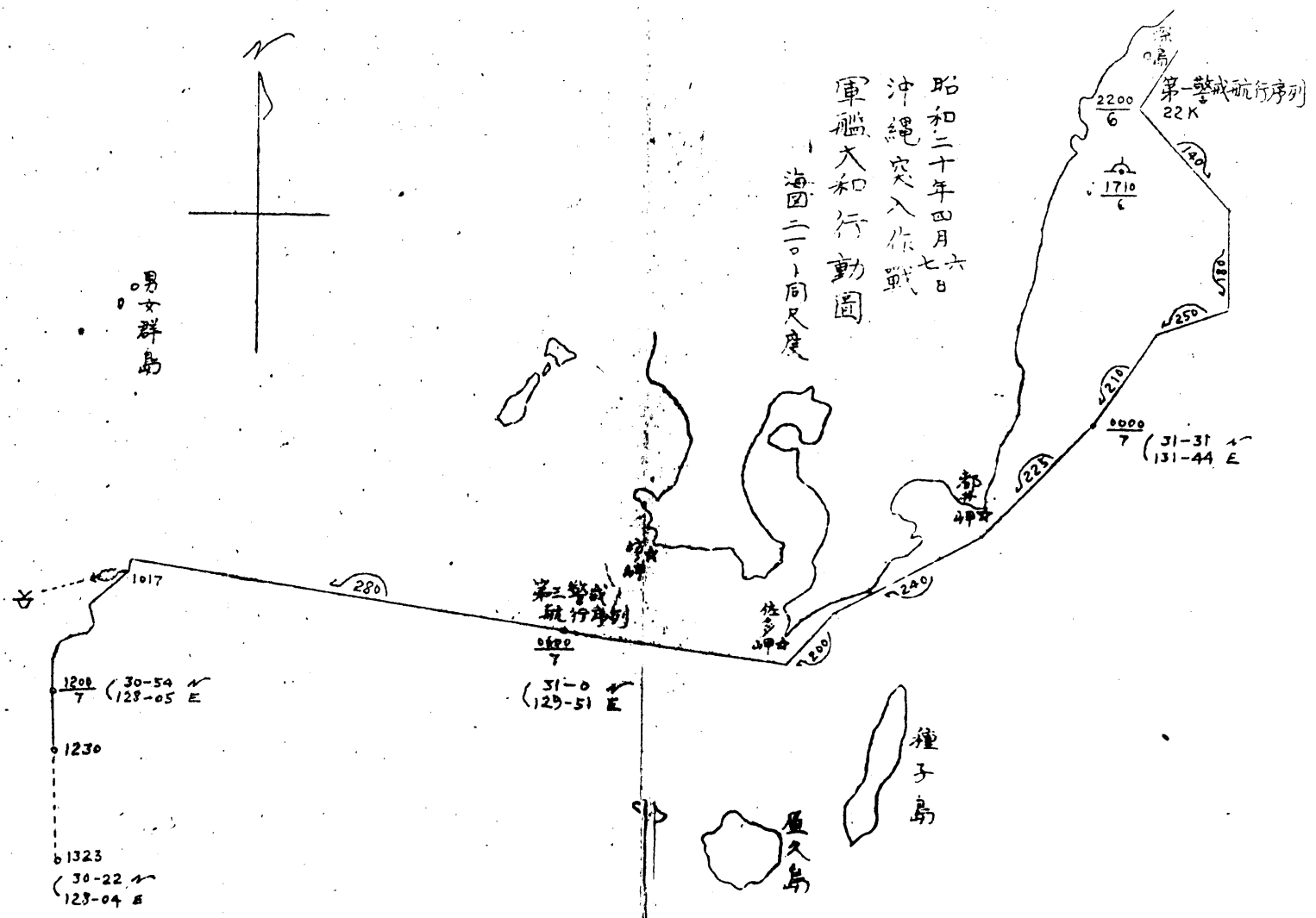
六 敵機ハ被彈防火對策ハ略完全ニ近キモト認メ我ガ方機銃彈ト相當命  
 中シ命中ニ依リテ發スルモ多數アリシモ間モ消火ニ擊墜スル至ラザリシモ  
 機ノキ多カリキ

男女群島



昭和二十年四月七日  
沖繩突入作戰  
軍艦大和行動圖

海圖二〇一〇同尺度

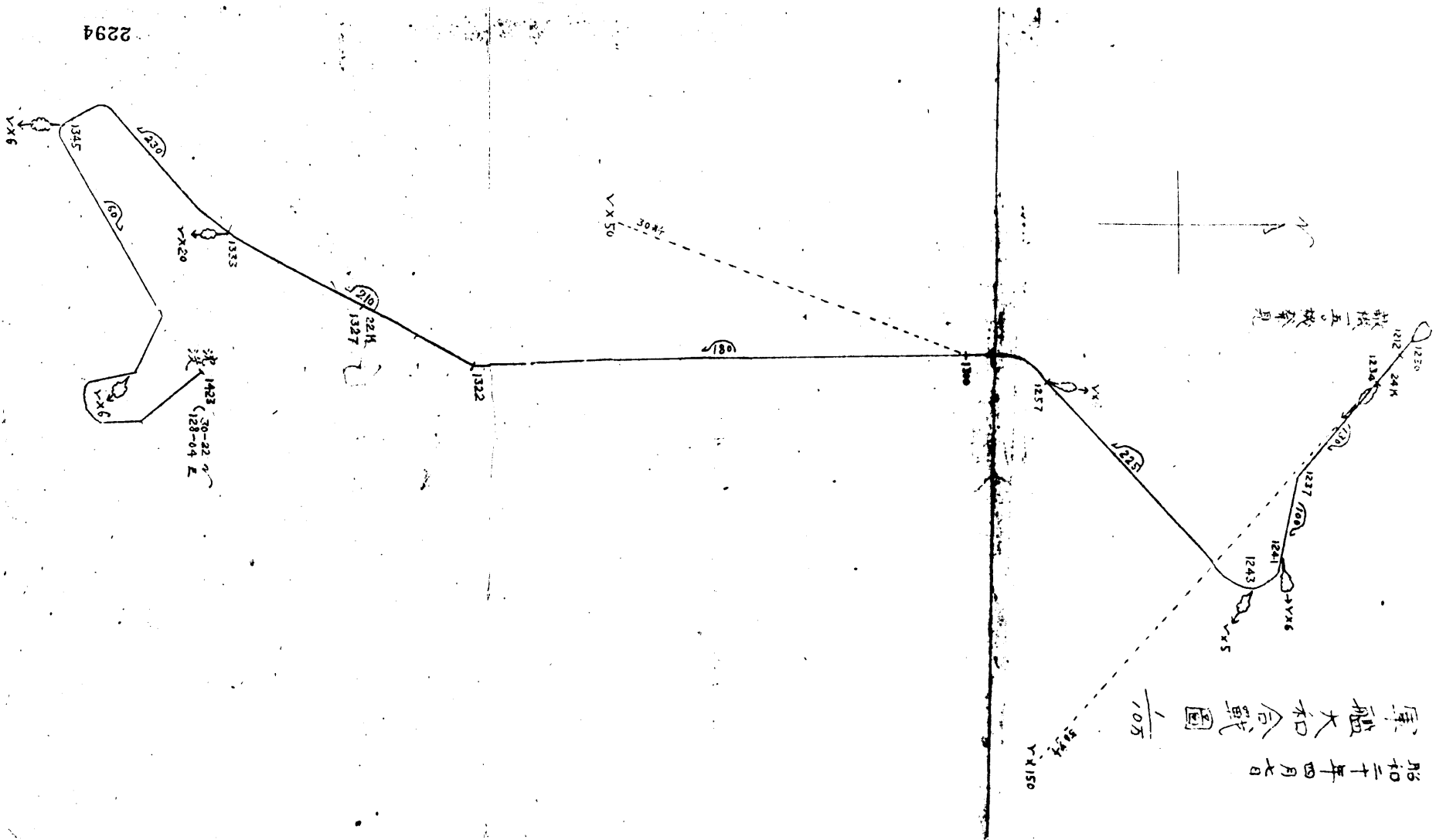




昭和二十年四月七日

軍艦大和合戦圖

1/10万



2294

